



# 5月のほけんだより

平成 30年 5月 1日  
日乃出保育園



## 【突発性発疹】

6か月から1歳くらいの子どもがかかる事が多い病気です。この病気で初めて熱が出た！という事も少なくありません。でも子どもは比較的元気なことが多いもの。水分補給を心がけ家庭で安静にして過ごせば心配ありません。



※突発性発疹は感染の恐れがありますので、登園許可証が必要になります。



青空の下を泳ぐ鯉のぼりのように元気に走り回っている子どもたち。新学期が始まって、もう1カ月が経ちました。多くの子どもたちは保育園の環境にも慣れ少しずつ自分のペースで保育園生活を楽しめるようになってきたのではないのでしょうか？そして5月と言えば子どもたちにとってはウキウキ、ワクワクするゴールデンウィークがありますね！海や山に遊びに行くという方もいらっしゃると思います。そうしたレジャーの際に怪我、皮膚のトラブルがつきものです。そこで今回は虫さされ、植物かぶれ、すり傷・きり傷の対処法についてお話しいたします。

**5月9日(水) 小児健康診断です!!**

## 【すり傷】

- ◎傷口に入った砂などの異物を水で洗い流しましょう。
- ◎ガーゼの傷薬を厚めに伸ばして貼り付け毎日交換しましょう。
- ◎ガーゼがはがれにくい場合は水でぬらすとはがれやすくなります。
- ◎はがした後の傷は痛くないように洗いましょう。

## 【切り傷】

- ◎水道水で傷口を洗いましょう。
- ◎絆創膏等で傷口を固定します。
- ◎傷口が開かないように固定すると痛くなく、早く治す事ができます。
- ◎傷が深い、出血が止まらないなどの場合はすぐに受診しましょう！



## 【蚊】

- ◎子どもの場合、水ぶくれができる事がある。(蚊に刺される免疫が少ない。また刺されやすい理由として体温が高い、代謝が良いなど)
- ◎1~2日経ってから強く腫れてくることが多い。(こどもの場合はとくに)
- ◎刺されたら洗い流し、冷やす。(基本的に保育園では薬は塗りません)



## 【ムカデ・ハチ】

- ◎刺されると直ぐに強い痛みがでる。
- ◎腫れが強い場合は受診しましょう。
- ◎以前にも同じ虫に刺されたことがあり、「気分がわるい」、「息ぐるしい」などの場合にはアナフィラキシーショックの可能性があるので、出来るだけ早く救急外来を受診する。
- ◎救急車を呼ぶことも必要です。

## 虫さされ

春から夏へとだんだん気温が高くなると、虫達も元気になってきます。虫さされも植物かぶれも、かかない事が大切です。かいてしまうと傷から菌が入り悪化することやとびひになることがあります。かきつづける事で治りも悪くなります。

## 【植物かぶれ】

- ◎植物の中には発疹や水疱等を起こす物もあります。症状が出た場合患部を触って広がらないように衣服を着替えたり、患部を流水で流し、かゆみ止め等を塗ったりしましょう。
- 水疱は清潔なガーゼでおおいます。患部が広がったりかゆみが治らない場合は受診しましょう。

## 【毛虫】

- ◎毛虫の毛が皮膚に刺さって炎症を起こした時は、患部にセロハンテープなどを貼って剥すと毛がとれる為、軽傷で済む。
- ◎毛虫は直接接触しなくても、毛が皮膚に触れるだけで強い皮膚炎を起こすことがあります。

## 【蜂に刺された時の注意】

- ◎皮ふに残った毒針を強く押ししたり、皮膚に深く押しこんだりしない、
- ◎毒針が皮ふに残っている場合は毒針を爪やピンセットで取り除き傷口を水道水で洗い、冷やす。



## 【爪を切って清潔に】

- ◎爪が伸びていると、爪と指との間にはばい菌が繁殖しやすくなります。
- また、乳幼児のやわらかい肌を傷つける危険性もありますので、爪はこまめに切るようにしましょう。
- ただし、深爪には要注意!!!
- 切りすぎて肌を傷つけ化膿してしまうこともあります。